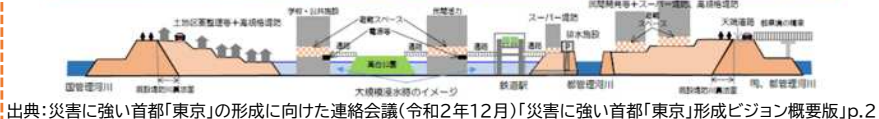


①現状及び課題整理

上位計画

国の高台まちづくりでは、「建物群」・「高台公園」・「高規格堤防」の一体的な高台整備を目指している。



出典：災害に強い首都「東京」の形成に向けた連絡会議(令和2年12月)「災害に強い首都「東京」形成ビジョン概要版」p.2

洪水ハザードと施設整備

垂直避難ゾーンを形成するため、洪水ハザードを踏まえた施設整備の促進を検討する。

一時避難施設<集合住宅>	
UR大島四丁目団地(大島4-1)	
UR大島六丁目団地(大島6-1)	
UR北砂五丁目団地(北砂5-20)	
亀戸二丁目団地(6~9号棟・分譲棟)(亀戸2-6)	
UR亀戸二丁目団地(1~5号棟・賃貸棟)(亀戸2-6)	
URシティコート大島(大島6-14)	
UR大島七丁目団地(大島7-28)	
UR東大島駅前ハイツ(大島7-39)	
区営扇橋一丁目アパート(扇橋1-20)	
一時避難施設<企業>	
(株)IH(豊洲3-1-1)	
(株)竹中工務店東京本店(新砂1-1-1)	
(株)LIXIL(大島2-1-1)	
日本ビュレット・パルカード(同)(大島2-2-1)	
(株)産学協同センター(大島3-1-11)	
(株)ヤマタネ(越中島1-1-1)	
(株)大和総研(冬木15-6)	
(株)フジクラ(木場1-5-25)	
(株)イトヨーカ堂(千代田区二番町8-8)	
(株)久米設計(潮見2-1-22)	
錦糸町プラムタワー(亀戸1-5-7)	
(株)トビーレック(南砂6-7-15)	
佐川急便(株)(新砂2-2-8)	
前田道路(株)(品川区大島1-11-3)	



垂直避難ゾーン内外で
垂直避難先の拡充が必要

*一時避難施設とは、企業等と「津波等の水害時における一時避難施設としての使用に関する安心協定」を締結した施設

出典：江東区(2022)「江東区都市計画マスタープラン2022」p.62より図を抜粋、加筆

②浸水対応型まちづくりの機能や考え方

浸水対応型建築物および拠点に必要な機能

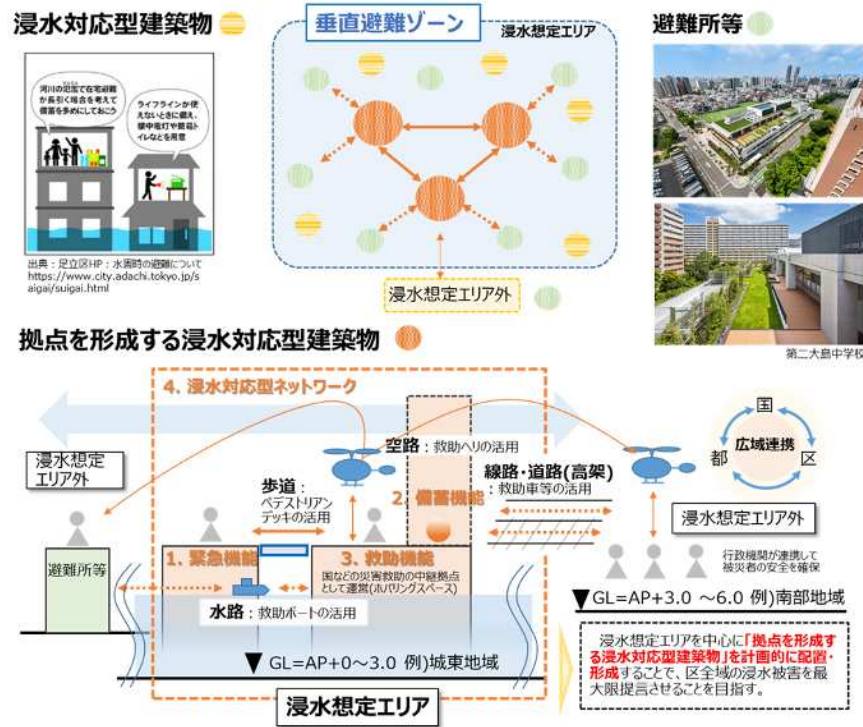
以下に示す「緊急機能」、「備蓄機能」、「救助機能」、「浸水対応型ネットワーク」などを有する「浸水対応型建築物」の整備を促進を検討する。



出典：葛飾区HP：浸水対応型市街地構想p.11
https://www.city.katsushika.lg.jp/_res/projects/default_project_page_001/020/950/2.pdf
出典：千代田区HP：災害と備えて
https://www.city.chiyoda.lg.jp/koho/kurashi/bosa/shien/sonae.html
出典：東京都HP：東京都庁ターヘル竣工式
https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/governor/governor/katsudo/2022/03/30_00.html
出典：経務省(総務省)：「動力ボートの効果的活用による救助技術の高度化に関する検討会報告書」の公表及び「動力ボートの効果的活用マニュアル」の策定
https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/iterns/190426dounyokuboto.pdf

浸水対応型建築物と拠点の考え方

「浸水対応型建築物」の整備を促進するとともに、大規模な建替等を契機として「拠点を形成する浸水対応型建築物」などの整備を検討する。



*本資料の内容は今後の検討・協議に伴い変更する場合がございます。